

シニアネットワーク連絡会セッション

福島若者は原子力に何を感じているか ～福島の夢と課題～
Feeling of Fukushima's young generation on nuclear -Dreams and Issues-

(5) 討論「これからのエネルギーに対する福島の役割」

(5) Fukushima's role for future energy

*三谷 信次¹¹原子力学会シニアネットワーク連絡会

1. はじめに

エネルギー産業、とりわけ原子力事業は、国家 100 年の計を持って進めるべきもので、人材育成はその要となる。人材育成の基礎をなすのは将来の夢であり、その夢が我が国科学技術を発展させ国を発展させてきた。SNWはこれまでも工学専攻の学生に対しては学生とシニアの対話事業を行い、国際社会で活躍ができるヤングエリート育成事業では、対話を通して学生の原子力事業への関心を提起してきた。一方、教育系や文系の学生に対しては、将来世代のエネルギーリテラシー向上への期待を伝えてきた。

しかるに、当地福島県の福島第一原子力発電所においては、2011 年炉心溶融事故が発生し水素爆発等の影響による放射性物質の拡散により周辺地域を汚染させる結果に至った。このことにより、地域住民の方々に多大の被害を与えたことは、原子力を推進する立場のSNWにとっても痛恨の極みであると感じている。

以上の事実に鑑み、SNWでは福島復興の一助とするため、福島第一原子力発電所の廃炉事業等に有形、無形の形で地元として現在、将来とも関与するであろう福島高専の学生達とエネルギーに関する対話活動を通じて原子力人材育成の立場から事業を進めてきており、今後とも継続して実施してゆく予定でいる。

2. 対話の進め方

本セッションに於いては、福島高専の教授、SNW会員、福島高専ビジネスコミュニケーション専攻の学生、福島県在住の日本大学工学部建築学科学生のそれぞれから「若者に夢を与える教育とは」「福島高専との対話会を通じて感じること」「若者から見た将来の原子力について」最後に「福島におけるエネルギー政策について」と題して講演を頂いたあと、モデレーターとして「これからのエネルギーに対する福島の役割」について簡単な概要を提示し、その後登壇者と会場参加者を含む全員で討論を進める。

今回のセッションではこれらについての討論から、各人の立場の違いを認識し合い、考え方の共有を図ると共に、SNWの今後の対話会に参考となるものを反映させてゆく。

* Shinji Mitani¹

¹ Senior Network (SNW)